

辰巳会員便り

岡田 静子

多用と存じ上げます。辰巳会御一同様にはお勞れの無き様念じ上げます。

一月二十三日

大寒の候 たつみ五十四号お送り頂き有りがたく御礼申し上げます。先づ表紙の「福寿」七福神の絵を見て、私にも福が来る思いでござります。

辰巳会長の年頭の御挨拶、高畠誠一様のたつみ発刊の辞、柳田義一様の辰巳会命名の由来を述べられたお言葉、亡夫、存命していたら何んなに喜んだ事だらうと存じます。

牧冬彦様のロシアの旅、故坂本寿様の「ゆつくり急げ」の神戸大学経済学部教授桂芳男様の御寄稿等、私にとってはすべて心すべき御文章と拝読いたしました。又私の針供養の拙文に貴重な頁を頂き勿体なく存じて居ります。

この度太陽鉱工ビル竣工に伴い、辰巳会も御移転との事、何かと御

小原多喜子

お札の言葉といたします。かしこ見て、私も福が来る思いでござります。

新ビル御建築をお祝い申し上げます。

一月二十六日

多用と存じ上げます。辰巳会御一同様にはお勞れの無き様念じ上げます。

いつの間にか一月も終りに近づき寒さもひとしほ厳しゆう御座居ます。過日はたつみ会々誌五十四号をお送り下さいまして誠に有難う御座居ました。厚く御礼申し上げます。早速主人の靈前にお供えさせて戴きました。主人が生きておれば繰返し読んでは昔の海岸通十番時代の事や金子様との思い出を話して呉れていました。主人の一周年忌の二月一日も間近になりました。主人のことを心より嬉しい出されます。金子様といつもいつしょに生活していた主人にとっては何にも替えがたい思い出だつた事でしょう。私にとつても昭和五年から十二年まで

礼まで申し上げます。かしこ

一月二十六日

ボロ市の立ち食ひうましと男孫云ふ家では食べぬキリタンボをば

唐戸 登美

寒さおん見舞い申しあげます。

皆様にはお変りなくお過しの御事とお喜び申しあげます。

「たつみ」五十四号をお送り下さいまして、有難うございました。

日の暮れますのも忘れて拝読させて戴きました。

本年、年賀状を差し上げました

が、不注意にも旧住所にさしあげてしましました。

(今年一年も無事に過ごしました)

いと念じております)

会の御発展と皆様の御健康をお祈り申しあげます。

一月二十八日

松村 勲
拝啓 時下薰風飄々の好季貴会 益々

花便りも聞かれます今日この頃、皆々様にはお健やかにお過ごしのことと、およろこび申し上げます。

夫 昔士郎他界以来、雑事に取り紛れ、何かと落ち着かぬ日々を過ごしてまいりましたが、本日、四十九日の法要を滞りなく相済ませました。亡き夫も今は安らかに眠つてることと存じます。

生前は永きにわたり、お世話様になりましたして誠に有難うございました。

お札の気持ちといたしまして、はなはだ些少ではございますが、金一封を送らせて戴きます。皆様方の御健勝と御多幸を心よりお祈り申し上げます。

りお祈り申し上げます。

五月二十四日

石野トシコ

御清栄の段お慶び申し上げます。拵て、先日の辰巳会にはどうしても出席が無理と思い残念ながら欠席致しました。

実は昨年十二月初旬、急病により入院、去る四月十一日漸く退院

が困難、長距離は無理、目下リハビリを兼ねて、近辺を歩いておる程度です。

皆様に御迷惑をかけても心苦しるので残念ながら欠席した次第です。御了承願います。

入院二、三ヶ月は寝たきりの状態で、アト最初が歩行器にすがつて、足を動かすのが最初です。健

康体がいかにありがたいかを痛切に感じました。

出来、辰巳会会員の皆々様の御厚志をしのぶ事が出来ますので、その様に用いる事に致します。美し

松村 勲

去る五月十六日の辰巳会全国大会には妻病氣のため迷い乍ら欠席致しました。年一回なのに期待して居ましたのに残念でなりません。皆様の御壮健を切に祈ります。

五月二十六日

北野 浅美
謹啓 時下薰風飄々の好季貴会 益々

御清栄の段お慶び申し上げます。拵て、先日の辰巳会にはどうしても出席が無理と思い残念ながら欠席致しました。

皆様の御壮健を切に祈ります。

五月二十八日

小林 俊夫
謹啓 此度びは米寿記念の見事な銀盃をお贈り戴き誠に有難う御座いました。衷心より御厚礼申し上げます。

米寿の祝とて純銀製の盃、お贈り戴き有りがたく拝受致しました。

徒らに年を重ねたるのみにこの様なお祝を頂き誠にありがたく存じます。厚くお礼申し上げます。

酒をたしなまない小生、この様に美しい器を年に一度正月の屠蘇用にのみ使うは勿体ない事何か外にも用途はないかと玉露を淹れる時の茶碗として使えば時々使用

然し、その二年後の昭和六年に造船界も不況と成り、嗟や工場閉鎖かと思われた寸前、当時の支那

立花 実
謹啓 此度びは米寿記念の見事な銀盃をお贈り戴き誠に有難う御座いました。衷心より御厚礼申し上げます。

右乱筆乍ら御礼迄 拝具

七月二十八日

立花 実
謹啓 此度びは米寿記念の見事な銀盃をお贈り戴き誠に有難う御座いました。衷心より御厚礼申し上げます。

酒をたしなまない小生、この様に美しい器を年に一度正月の屠蘇用にのみ使うは勿体ない事何か外にも用途はないかと玉露を淹れる時の茶碗として使えば時々使用

然し、その二年後の昭和六年に

物故者名簿

平成3年12月31日迄

御芳名	死亡年月日	享年	最終勤務先
笠松 雪	平成2年	85才	
大久保 潔	〃 1月9日	84才	石川島播磨工業(株)
梶田 五郎	平成3年1月	80才	羽幌炭礦鐵道(株)
折戸 勇	〃 2月6日	90才	鈴木製油所兵庫工場
石野 昔士郎	〃 2月12日	92才	京城支店鉱山部
宮本 守恵	〃 2月18日	95才	東京支店
中尾 文策	〃 2月25日	87才	本店倉庫部
田中 秀季男	〃 3月1日	91才	(株)日本商業
和田 祝恵	〃 3月7日	88才	本店鉄材部タピスト
村尾 寛三	〃 3月14日	85才	(株)神戸製鋼所
大家 実美	〃 5月28日	89才	
本重志	〃 5月	97才	紐育支店
海親雄(哲好)	〃 6月9日	83才	(株)鳥羽造船所工作課
江口 章	〃 7月31日	83才	(株)神戸製鋼所
楠山 栄吉	〃 9月8日	90才	高畠家秘書(株)
安並 正道	〃 9月9日	91才	高神銅商事(株)
白井 栄次郎	〃 10月3日	91才	帝人商事(株)
金月 弘	〃 10月25日	82才	東神興(株)

普段は一方ならぬご配慮を戴き
厚く御礼申し上げます。扱て九月
一日市政施行に伴いまして住所が
左記の如く変更されますので名簿
訂正方よろしくお願ひ致します。
尚郵便番号は従前通りであります。
敬具

くお札申し上げます。
先ずは取り急ぎ書中を以てお詫
び申し上げますと共に温かいご配
慮に対し心からお札申し上げます
敬具

十二月 敬具 感に對し心からお礼申し上げます。先ずは取り急ぎ書中を以てお詫申しあげますと共に温かいご配

ところがその翌々日市川、曾我野、湊の三君が突然来社され「浅

普段は一方ならぬご配慮を戴き
厚く御礼申し上げます。扱て九月
一日市政施行に伴いまして住所が
左記の如く変更されますので名簿
訂正方よろしくお願ひ致します。

尚郵便番号は従前通りであります。

あつた。
然し亦不況の永いトンネルの苦
くお礼申し上げます。
先ずは取り急ぎ書中を以てお詫
び申し上げますと共に温かいご配
慮に対し心からお礼申し上げます
敬具

夫からも海運界と共に造船業界
特有の好、不況の山と谷に揉まれ
漂ふ歴史を重ね昭和三十五年のど
ん底遂に銀行から親会社への復帰
合併を懲諭される始末と成了た。
六岡社長は早速親会社の神戸製鋼
に浅田社長を訪ね事の趣きを懇請、請
したので浅田社長も即座に応諾さ
れ三十一年振りに親会社に復帰合
併することに成ったのでありまし
た。

に馴染んで来たのによく悲憤の涙に暮れ、若し田宮さんが御在世ならこんな事には成らなかつたのにと、今更乍ら田宮さんの遺徳を偲ぶことでもありました。

繰りごと乍ら造船業界にも亦春が来て社名は既に石川島播磨重工と成りましたが昭和三十七年、三十八年及び三十九年の三年連続して播磨工場の建造量が世界一を記録するに云う実績を揚げたこともあつた。

然し亦不況の永いトンネルの苦

仮令子会社とはいへ六岡社長が伺候し礼を盡して浅田社長に懇請して決められたことが、此の様な形で覆されて終るとは……、永年に渡りお互い鈴木の流れを受けて、

田社長が一応受諾した復帰合併の件、当社常務会で慎重協議した結果復帰合併は取り消して貰い度いことに成りましたので悪しからず」と云う謝りの使者の口上であります。

難期を経て本年は漸く大型VLCCタンカーの代替期を迎え、二重構造の大型タンカーの建造が相
継ぎ、更に自社開発のLNGタンカーカーの受注、又、新支拠開発に因

の立派な銀盃を戴いた御札に併せて
駄文を綴つた次第で御座います。
十月十五日 拝具

(22)